

都道府県医師会における女性医師に  
関わる問題への取り組み状況調査結果

平成20年3月

日本医師会男女共同参画委員会

## 目 次

- 質問 1 女性医師に関わる委員会や部会を設置していますか - - 1
- 質問 2 女性医師について何らかの取り組みをされていれば、  
その具体的な内容をご記入ください - - - - - 2
- 質問 3 何か問題をかかえていれば、その具体的な内容を  
ご記入ください - - - - - 1 2
- 質問 4 今後どのような取り組みが必要であるとお考えですか - 1 8

コード	都道府県	質問1：女性医師に関わる委員会や部会を設置していますか。				
		はい	名称	いいえ	設置予定	備考
1	北海道				×	
2	青森				×	
3	岩手		岩手県医師会女性医部会			規約あり
4	宮城		勤務医連絡協議会のなかで女性勤務医師支援に取り組んでいる			
5	秋田				×	
6	山形				×	
7	福島				×	
8	茨城					
9	栃木		栃木県医師会勤務医部会労働環境調査委員会(女性医師問題を含む)			
10	群馬				×	
11	埼玉				×	
12	千葉		千葉県医師会女性医師部会			規約あり
13	東京		次世代育成支援委員会			
14	神奈川		男女共同参画推進部会			
15	新潟				×	
16	富山		女性医師委員会			規約あり
17	石川		女性医師検討委員会			
18	福井		女性医師対策委員会			
19	山梨				×	
20	長野				×	平成19年度長野県に女性医師ネットワーク協議会が設置されたので、その活動状況を見て県医師会として部会等の設置を検討したい
21	岐阜		医師確保対策検討会(役員内部検討会)			
22	静岡				×	
23	愛知					
24	三重		勤務医委員会にて女性医師に関わる問題についても検討を行っている			規程あり
25	滋賀				×	
26	京都					
27	大阪		大阪府医師会男女共同参画検討委員会			
28	兵庫		兵庫県医師会女性医師委員会			会則あり
29	奈良		奈良県医師会勤務医部会女性医師委員会			規約あり
30	和歌山				×	現在検討中
31	鳥取					
32	島根		島根県医師会男女共同参画委員会			
33	岡山		岡山県医師会女医部会			規約あり
34	広島		女性医師部会			規約あり
35	山口		女性医師参画推進部会			規約あり
36	徳島		女性医師部会			規約あり
37	香川					
38	愛媛		愛媛県医師会女性医師部会			規則あり
39	高知				×	
40	福岡		男女共同参画部会			規約あり
41	佐賀				×	
42	長崎				×	
43	熊本					
44	大分		大分県医師会女性医師の会(おおいたJOYネット)			規約あり
45	宮崎		県医師会女性医師委員会			
46	鹿児島		女性医師委員会			
47	沖縄		沖縄県医師会女性医師部会			会則あり
	計	25		22	6	

**質問2 女性医師について何らかの取り組みをされていれば、その具体的な内容をご記入ください**

**(北海道)**

- ・ 昨年度は、それぞれの医療現場で活躍している女性医師に集ってもらい、女性医師がかかえている諸問題について大いに語り合う場の座談会を開催し、その模様を『北海道医報』で広く会員に紹介した。
- ・ 「医学生・医師による医療を考える合同懇談会」を開き、地域医療の実態や性差医療、キャリア継続の実例などについてのパネルディスカッションを行った。本年度も、平成19年11月9日、旭川市において開催した。
- ・ 北海道地域医療振興財団（北海道の外郭団体）が運営している「女性医師バンク」についても、今後、医師会として広報誌などで取り上げ、会員や医療機関等に対し積極的にPRしていくこととしている。

**(青森県)**

平成18年度に第1回「女性医師懇談会」を開催した。本年度も行う予定である。病院管理者に対する講習会を本年度内に開催する予定である。

**(岩手県)**

- ・ 女性医師による女性市民を対象とした無料相談（月1回）
- ・ 女子医学生（岩手医科大学）との懇談（年1回）
- ・ 女性医師等への育児サポート
- ・ 女性医師等への職場復帰研修
- ・ 一般市民向け講演会（年1回）

**(宮城県)**

平成19年8月に、官公立病院を対象に女性勤務医師の労働環境についての実態調査アンケートを行った。85%の回答率を得たが、現在その結果を分析中である。これにより、女性医師の勤務環境の実態が明らかになり、その改善に向けての回答も得られると思われる。

平成19年11月には、女子医学生、女性研修医との座談会を実施した。

宮城県および宮城県女医会と密接に連携し、女性医師キャリアカウンセリング事業に協力する。

**(秋田県)**

- ・ 県医師会・県・秋田大学による女性医師支援プロジェクト会議を設けている。
- ・ 女性医師の働きやすい環境を求めて、アンケート調査やシンポジウムなどを開催している。現在は、情報公開（県内の子育て情報 - 医師を中心に）のホーム

ページ・ブログの立ち上げ作業中である。

#### (山形県)

- ・平成19年9月21日、山形県医師会男女参画事業推進委員会の準備会を開催し、今後の取り組みについて協議した。その結果、女性医師が何を求めているかを把握するため、アンケート調査を実施することになり、現在その準備中である。

#### (茨城県)

女性医師アンケートについて

平成19年1月に茨城県医師会員のなかで女性医師についてアンケートを行いその結果を茨城県主催の「いばらき医師子育て支援フォーラム/平成19年3月24日開催」で発表した。

市郡医師会の女性役員による女性医師の会立ち上げについて、平成18年11月9日に意見を聴取する会を開催した。

本年度中に市郡医師会より、女性医師の会立ち上げ発起人の推薦を受けて、女性医師の会を発足する予定である。

#### (栃木県)

- ・栃木県医師会勤務医部会労働環境調査委員会(女性医師問題を含む)は、勤務医の厳しい労働環境、また、女性医師のかかえる問題等について調査するために設置された委員会。
- ・現在、「女性医師就労環境に関するアンケート調査」を実施しており、調査結果を集計中。
- ・日医を通じて委託を受けた「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」ならびに「女子医学生、研修医等をサポートするための会」も、本委員会の運営により開催する。

#### (埼玉県)

- ・昨年度は「女性医師の勤務環境整備に関する講習会および座談会」を開催した。

#### (千葉県)

- ・県医師会ホームページ内に女性医師部会のコーナーをつくり、研修会・講演会等の情報を流し、新しい知識を常に取り入れられるようにしている。
- ・部会役員のメーリングリストを利用して、コミュニケーションを密にしている。
- ・勤務医部会との連携もとるように努めている。
- ・県庁内の医師再就業支援事業に協力している。

## (東京都)

「女性会員問題検討委員会」

諮問事項：「女性医師の活性化について」（平成13・14年度）

「女性医師の医師会活動への積極的な参加の支援について」

（平成15・16年度）

- ・女性医師の役割と現況についてのアンケート調査

平成14年7月に13医科大学・50病院に対しアンケート調査を実施し、3,873人中629人より回答を得た。

- ・女性医師フォーラム主催（平成15年2月22日）

男女共同参画事業の意義、女性医師の現況についての講演等。

- ・地区医師会女性役員経験者へのアンケート調査

平成15年10月に平成元年度より15年度にかけて地区医師会の役員（大学医師会を除く）を経験した女性医師を対象に実施し、164人中148人の回答を得た。

日本産婦人科医会勤務医委員会との勉強会（平成16年2月6日）

新医師臨床研修制度における女性医師の立場と将来像等について検討。

- ・地区医師会現職役員へのアンケート調査

平成16年7月に女性役員経験者へのアンケートをもとに地区医師会の現職役員（大学医師会を除く）を対象に実施し、809人中682人の回答を得た。

「女性医師参画推進委員会」

諮問事項：「地区医師会活動への女性医師の参画」および「地域子育て運動の活性化」（平成17・18年度）

- ・地区医師会における子育て支援事業への女性医師の参画推進について検討。

「次世代育成支援委員会」

諮問事項：「健康で他人に思いやりのある子どもが育つために - 東京都医師会としてできること」（平成19・20年度）

- ・女性医師の勤務環境の整備に関する講習会（平成19年12月8日開催）
- ・女子医学生・研修医等をサポートするための会（平成20年3月1日開催予定）

## (神奈川県)

- ・独自の取り組みは検討中。

## (新潟県)

- ・女性医師に限ったの取り組みではないが、ドクターバンク、ドクターショートサポートバンクが女性医師の掘り起こしにもつながればと考えている。

### （富山県）

年に1回女性医師委員会主催の講演会を開催している。本年度は3回目。託児室を設置。

研修医や子育て中の若い世代の女性医師を対象に、先輩医師と話し合う会を開催。「本音を語る会」。託児室を設置。

県内女性医師を対象としたアンケート調査を行い、その結果を報告した。

女性医師の県医師会への登録者に講習会の通知をしている。

### （石川県）

医師会会長の諮問「女性医師をめぐる諸問題と対策」について答申を作成中である。

県内病院107施設に対して「女性医師勤務に関わるアンケート」を実施し、また女性医師の現状を把握するために女性医師を対象にアンケートを行った。

県医師会のホームページに病児保育施設・ベビーシッターを紹介し、各施設へのリンクを可能とした。

既存の石川県医師会ドクターバンクの求人情報に、産休・育児休業取得の有無、休業中の身分保証の有無、当直・オンコールの有無等の項目を追加した。

「女性医師の勤務環境の整備に関する講習会」、「女子医学生、研修医等をサポートするための会」を開催した。

### （福井県）

- ・ 行政（福井県）との間で、「院内保育所」、「病児保育」、「24時間保育」、「学童保育」の整備充実について検討中。

### （山梨県）

- ・ 平成18年3月4日に開催した勤務医部会総会において、県内の医療機関に勤務している5人の女性医師をシンポジストに招き、「女性医師の主張」と題するシンポジウムを実施した。その内容は、「第1回山梨県医師会勤務医部会総会報告」として冊子にまとめ、関係機関に配布した。同時に勤務医のアンケート調査も実施し、これを足掛かりとして、県内の女性医師の実数と勤務実態などを把握し、問題点を整理して目標を定め、女性医師の組織化に努めていきたいと考えている。

### （長野県）

- ・ 平成18年度に引き続き、平成19年度においても女子医学生・女性医師を対象とした講演と意見交換会を開催する。

### （岐阜県）

医療機関の管理者等を対象に、医師確保、子育て支援の両面から就業支援の普及啓発研修会を開催する。

地域医師会では、女医会といった集まりが組織されている。

県内の病院における就労環境に関するアンケートを実施。

### （愛知県）

- ・ 日医男女共同参画委員会企画の2事業

女子医学生、研修医等をサポートする会

本年度は平成20年2月2日、東京女子医科大学の斎藤加代子教授に講演依頼

女性医師の勤務環境の整備に関する病院長等への講習会

本年度は平成19年9月29日、清野佳紀大阪厚生年金病院院長が講演を行った。

- ・ 県医師会の分科会としての女医会

県医師会のドクターバンクと連携し、会員に求人情報を流す。（同時一斉FAX）

女医会に直接要請のある求人情報を流し、会員およびその紹介者の求職を募る。女医会会員増強が目的。ほぼ全員なんらかの医療に携わっており、実際には求職希望の申し出が出にくい。

### （三重県）

- ・ 日医との共催で、「女性医師の勤務環境の整備に関する座談会」を平成18年度に実施。また、平成19年度についても「女子医学生、研修医等をサポートするための会」、「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」を実施予定。

### （滋賀県）

- ・ 前回の役員改選において、初めて女性が理事に就任し、役員会等では医師会活動に対し、女性の立場から意見を述べてもらっている。

### （京都府）

- ・ 平成20年2月22日に日医男女共同参画委員会委員の清野佳紀先生を招聘し、「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」を開催予定。
- ・ 次年度には「女子医学生、研修医をサポートするための会」等への取り組みも検討している。



### (大阪府)

- ・ 大阪府、大阪市に対して女性医師の勤務環境整備の一環として、院内保育所設置に対する助成拡大などを要望。
- ・ 大阪府の委託を受け、女性医師確保事業の一環として、子育て等で離職していた女性医師等の復職を支援するため、産婦人科、小児科、麻酔科など医師不足がいわれている診療科目を中心に、女性医師キャリアアップ研修事業を実施。  
講義による研修、最新の医療技術習得のための病院現場における手技実技講習、現場復帰に向けた相談等。
- ・ 大阪府医師会院内保育ネットワークの構築。(大阪府内の医療施設に就業する女性医師の育児を支援し、離職防止を図り、また、再就業を促進することを目的に、府内医療施設が設置する院内保育所を、当該医療施設に勤務する女性医師以外も共同利用できるようにするもの)

### (兵庫県)

- ・ 女性医師再就業支援センターを設置し、ドクターバンクと連携のもとに、平成19年9月3日より支援を開始している。

### (奈良県)

- ・ 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会の開催。

### (和歌山県)

- ・ 平成19年4月28日に、医療機関の管理者、院長等を対象にして女性医師の勤務環境の整備に関する講習会を開き、女性医師の処遇、待遇等について検討してもらえよう訴えた。
- ・ 今後、女性医師役員を中心に委員会を立ち上げたいと思っている。
- ・ 保育所に関する件も検討中である。

### (鳥取県)

- ・ 平成18年度に、女性医師アンケートを実施した。
- ・ 勤務医部会でも女性医師問題に関する講演会(日医要請分)を開催した。

### (島根県)

平成18年10月4日に県内の各病院を対象に「女性医師の勤務支援に関するアンケート調査」を実施した。

平成19年1月27日に日医、島根大学医学部と共催で「平成18年度島根県医師会男女共同参画フォーラム」を開催した。

平成19年3月21日に日医と共催で「平成18年度女性医師の勤務環境の整備に関する

る病院等の開設者・管理者等への講習会」を開催した。

平成19年10月10日に島根県医師会女性会員と県内の女性医師を対象に、島根大学医学部附属病院女性スタッフ支援室と共同で「男女共同参画と女性医師アンケート調査」を実施した。

#### （岡山県）

- ・ 女医部会委員会の開催（年に1、2回）
- ・ 医学生、研修医、女性医師等との懇談会（年に1回）
- ・ 女医部会会報の発行（年に1回）

#### （広島県）

- ・ 市郡地区医師会より選ばれた委員、また、以前より存在する「広島県女性医師の会」の有志、それに県医師会常任理事より男性医師も含み4～5人を選出。20人くらいで女性医師部会委員会を組織し、そのなかの7～8人で小委員会を開き、事業計画の発案・企画をしている。委員会、総会を年に1～2回開催。
- ・ 縦関係の女性医師部会とは別に、横関係で県内の公立、私的病院、また、広島大学病院の各科より女性医師部会連絡係を選んでもらい、連絡網を構築。第1回広島県女性医師部会連絡会を平成19年9月27日に開催。60人以上の出席で、勤務医部会担当理事による特別講演の後、多くの意見が出て充実した会となった。
- ・ 夏休みに、広島大学医学部女子医学生夏季短期研修を女子医学生の希望に沿って実行。
- ・ 広島大学女子医学生、研修医を対象とした講習会。
- ・ 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、管理者への講習会。
- ・ 広島県医師会速報に“女性医師コーナー”を設けて、月1回女性医師の声を届けている。
- ・ 広島県医師会速報に「女性医師のためのよろず相談」として、FAX・メールで相談を受けている。

#### （山口県）

- ・ 昨年度は、女性医師会員を対象としたアンケート調査の実施、女性医師参画推進部会の設立、医師会、山口県、山口大学医学部連携のもと「女子医学生、女性研修医を対象としたシンポジウム」の開催など、女性医師の確保対策を実施してきた。
- ・ 本年度は、医師会、山口大学医学部、山口県などが連携して「女性医師が働き続けられる環境づくり」を推進する取り組みを中心に実施している。  
女性医師、女性医師が属する県内病院の病院長・事務長等を対象にした研修会の開催。

女性医師の勤務状況の分析、課題の抽出、対応策の検討を行うため、県内の女性医師や女性医師勤務病院に対するアンケート調査の実施。

のアンケート調査結果をもとに「女性医師が働き続けられる環境づくり」をテーマとしたシンポジウムの開催。

山口大学医学部女性医師に対する「育児サポーターバンク・ニーズ調査」の実施。

育児支援情報の県医師会ホームページへの掲載。

## （徳島県）

女性医師が生涯にわたり仕事を継続することができるための取り組み

- ・ 徳島大学病院・徳島県（医療政策課）・徳島県医師会（主に女性医師部会）の三者が連携し、女性医師の就業支援、特に復職支援を目的とするプロジェクト結成
- ・ 既存のドクターバンクのなかに女性医師就業支援窓口をつくり求職医師の登録（転職希望および臨床研修医などを含む）（男性医師も）
- ・ 地域の医療機関の求人および柔軟な勤務体制の可否調査および登録依頼
- ・ 復職時の研修システム：e-ラーニング方式（大学病院）実施予定
- ・ 生活環境の実態調査：保育・家事支援情報の収集および関係機関への働きかけ
- ・ 託児施設 講演会開催時予約制（平成15年6月8日から）

既卒の女性医師の活躍の場所の拡大を求めている行動

- ・ 性差医療の学習
- ・ 女性を対象とした相談外来への出務（大学病院・行政）

女性医師間の情報交換

- ・ ホームページ
- ・ メーリングリスト

女子医学生たちへの働きかけ

- ・ 講演会のテーマを女子医学生・研修医などに重点を置いたものとしている。
- ・ 医学部卒業生へのお祝いおよび、女性医師部会の活動推進に関する案内カード配布

## （香川県）

- ・ 昨年度より、日医と共催で「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」を開催しており、本年度も12月に開催した。
- ・ また、新たに日医男女共同参画委員会と共催で「女子医学生、研修医等をサポートするための会」を平成20年2月に開催する方向で準備を行っている。

## （愛媛県）

- ・ 愛媛県内の女性医師バンクを県医師会内に設け、愛媛県医師会報にて周知を図

っている。

#### (高知県)

- ・ 高知県女医会があり、活動している。(会長が高知市医師会理事)

#### (福岡県)

- ・ 女性医師のアンケート調査(平成18年実施)
- ・ 男女共同参画部会研修会(平成18年実施、平成19年12月実施)
- ・ 大学研修医への講演会(平成19年1月産業医科大学、同年7月九州大学)
- ・ 女性医師交流会(平成19年3月)
- ・ 女性医師メーリングリスト開設(平成19年11月)

#### (佐賀県)

- ・ 本年度は、日医が進める「女性医師の勤務環境の整備に関する研修会」を開催することにしている。

#### (熊本県)

- ・ ただいま検討中である。

#### (大分県)

- ・ 女性医師に対するアンケート調査(報告書)
- ・ 講演会「女性医師再教育センター設立と運営」 東京女子医科大学 川上順子先生
- ・ 各都市医師会での取り組み状況の調査
- ・ 研修会のサポート

#### (宮崎県)

- ・ 年に1回県内女性会員を対象に「女性医師フォーラム」を開催している。
- ・ 現在、「女性医師バンク」、「女性医師復職プロジェクト」を検討中である。

#### (鹿児島県)

- ・ 子育て中の女性医師ならびに女性医師委員会委員と行政の関係者が出席し、「出産・育児を伴う女性医師が働きやすい職場環境の整備」について意見交換会を開催。
- ・ 県内の女性医師会員(471人)を対象に行政が実施したアンケート結果について、女性医師委員会で分析することになっている。
- ・ 女性の生涯にわたる健康サポート事業「性差医療推進研修会」を県と共催で開催している。(昨年度より開催)

- ・ 女性医師委員会において女性医師の働きやすい勤務環境整備のための検討を行っている。
- ・ 女性医師委員会において再就職のための研修先について検討している。
- ・ 「日医女性医師バンク」、「県医人材バンク」について毎月医師会報で広報している。
- ・ 鹿児島市医師会女性医師部会と連携・協力し、医師会活動への参加を呼びかけている。
- ・ 「託児所・ベビーシッター」などの保育サポーターの紹介等についての情報を毎月県医師会報に掲載している。(これまでの問い合わせは19件)
- ・ 昨年度は「病院長、管理者等研修会」を日医と共催で開催。

#### (沖縄県)

- ・ 平成19年10月20日に「第1回沖縄県女性医師フォーラム」を開催。
- ・ 上記フォーラムの申し込みと同時に、今後の情報提供先を記載してもらい名簿作成の準備を進めている。

### 質問3 何か問題をかかえていれば、その具体的な内容をご記入ください

#### (北海道)

- ・ 女性医師からは、医師会での「託児所」設置希望の声も聞こえてくる。しかし、他都府県のように医療機関が密集しているところでは、医師会独自の託児所などの設置は可能だが、北海道のように広域な地域をかかえ医療機関が点在しているところでは、困難である。
- ・ 北海道医師会館での会合の場合に、育児を預かる一時保育所などの開設は可能であり、女性医師の参加を増やすことにもつながるので、今後検討したい。

#### (青森県)

女性医師のネットワークが構築されていない。

育児支援に関するシステムが不備であり、情報も少ない。

たとえ病院管理者に理解があっても、全体的な医師不足が背景にあるため、女性医師支援が進みにくい。

#### (岩手県)

女性医師会員の積極的医師会活動参加が少ない。

復帰支援事業や育児支援事業の対象になる女性医師の把握の困難。

(医師会・医療機関等の組織に所属せず、現役活動をしていない女性医師)

岩手県は四国四県に相当する広さと交通手段の不便さのため、県都盛岡周辺からの女性医師は容易に集まれるが、それ以外の地域の医師は活動に参加しにくい。

(対策としてテレビ会議、郡市医師会内に女性医部会の設置)

医師会員としての自覚をもって役立とうという気概がない女性会員に、いかに医師会員であることの意識を持ってもらうか。

#### (秋田県)

- ・ 女性医師の子育てに関わる部分が大きく取り上げられ、支援策も選択の幅が広がってきたが、女性医師もさまざまであること、男性医師も含めてバランスのとれた対策を考えていかなければならないと思っている。

#### (山形県)

- ・ 本県には、すでに NPO 法人の「山形女性医師ネットワーク」が設立され、独自に活動を展開しているので、その団体との関係をどのようにすべきか苦慮している。

#### (茨城県)

- ・ 女性医師で医師会の役員になっている人は少なく、役員の多くは子育ての終了

者で、いわば成功者であり、女性医師の会の設立に積極的でない役員も多い。このため、再度、会員のなかで若い女性医師（子育て中など）を推薦してもらうようにしたが、なかなか推薦者が集まらない状況である。

#### （栃木県）

- ・ 質問2で回答したアンケート調査結果を待って検討する予定。

#### （千葉県）

- ・ 医師会活動に参加する女性医師が少ない。
- ・ どうにかして、医師会に目を向けてもらいたいが、その対応はというと具体策はない。

#### （東京都）

女性医師の卒後再教育の問題

- 1)再教育機関の数が限られているため、通勤に時間がかかる。
- 2)再教育機関に保育所がない。

女性医師の再就職の問題

- 1)保育所への入所が困難。
- 2)就業時間が長すぎたり、時間外勤務を強いられる。
- 3)パート扱いの労働条件が常勤と比較すると悪すぎる。

#### （神奈川県）

- ・ 部会入会者が少なく部会としての機能を果たせない。（全会員に対し希望者 60人程度）
- ・ 医師会は男女の隔てなく活動しているので、あえて女性医師の会を設置することに対し疑問の声が根強く残っている。
- ・ 設立後のビジョンがはっきりしていない。

#### （新潟県）

- ・ 現在、本会役員として女性理事が1人いるが、行政他からの対外委員等の推薦において、男女共同参画として女性医師の推薦依頼が増えている。本会の女性会員の割合は約1割程度で、さらにそのなかで活躍している人に依頼が重なり職務過重の状態となっている。

#### （富山県）

女性医師の新たな職場（より条件のいい）を紹介し、仕事の継続に協力したいがあっせんが困難である。

求職と求人があっても、紹介、あっせんができない。

- ・ 、 のように、せっかく登録が充実してきても講演会やベビーシッター等の情報提供のみに終わっている。
- ・ 職場紹介など、もう少し詳しい情報提供を行いたいが、法律上できない。

#### (石川県)

県内における休職中の女性医師を一部しか把握できない。  
講習会等を開催しても出席者が少ない。

#### (福井県)

- ・ 県内にどのくらい医師として就業していない女性医師がいるかの把握が困難である。県全体の女性医師数を把握する方策は何かないか。

#### (山梨県)

- ・ まだ、具体的問題点を把握し、整理する段階にいたっていない。

#### (長野県)

- ・ 勤務医の就労環境の悪化などによる病院の医師不足対策を講じるうえで、勤務医の負担軽減を図るために女性医師の就労環境の改善は大きな課題である。具体的には、託児施設の整備・充実、勤務日数・時間の柔軟な対応、ワークシェアリング、パート・非常勤など勤務形態の柔軟な対応、当直の緩和、復帰に向けた研修の充実、などがあげられている。これらの実現には、まず女性医師自身の姿勢と努力、そして行政、病院、医師会、地域、家庭など各々ができること、やるべきことは何かを明確にするとこから始めなければならない。

#### (岐阜県)

- ・ 医師会に未加入のドクターの情報をつかむことができないので、掘り起こしができない。

#### (愛知県)

- ・ 当女医会は40年前にスタートした。現在までずっと「日本女医会愛知県支部」という名称になっているが、日医・県医との関係と違い、日本女医会と当支部との入会は別途である。現在250人の会員のうち、日本女医会会員になっていない人がなっている人を上回っており、この数年、会の名称の整合性が問題になっている。

#### (三重県)

すべての女子医学生、女性医師が安心して、就学、就業できる育児施設の整備が



必要。県内の基幹病院の一部で育児施設を稼働させているが、県全体としてはほとんどなされていないのが現状。

現場復帰時に医学・専門技術を取り戻すための修練プログラムが必要。

#### (滋賀県)

- ・ 日常の診療や子育て・家事が多忙で、医師会活動に参加する余裕がないのが現状と思われる。

#### (京都府)

- ・ 各病院、診療所としてはさまざまな問題をかかえているが、府医としてはそれらを集約しているところである。

#### (兵庫県)

- ・ 潜在女性医師の把握が困難であること。

#### (奈良県)

##### 女性医師自身の意識

男性医師とまったく同等であり、女性医師として、しっかりと人生を歩んでおり、特別に配慮してもらう必要はない、という女性医師も多い。

ドクターバンクへの求職登録も進んでいない状況である。

##### 男性医師の意識・理解

男女共同参画の潮流で、建前上理解を示しているようではあるが、現場でも、家庭でも、本音はまだまだ男性優位である。

##### 病院管理職の意識・理解

産休はともかく、育児休暇、病気時対応、夜間勤務等についての体制整備がまだまだ不備である。主治医交代制、フレックスタイム等の柔軟な勤務体制も不備である。

#### (和歌山県)

- ・ 特に妊娠出産による勤務の中断について、医療機関内における勤務体制（救急も含む）で問題が多発していると聞く。

#### (鳥取県)

- ・ 平成 18 年度に実施した女性医師アンケートの結果から、女性医師の勤務環境の整備、育児支援、長期休業後の再研修の必要性が指摘されており、これらに対する取り組みが必要と考えている。
- ・ 医師会役員などへの積極的な参加を、いかにしてもらおうようにするかも課題である。

### (岡山県)

- ・ 県医師会の活動として行っているため、医師会に属している女性医師は多少の苦労はあっても、なんとか仕事を続けている人ばかりである。
- ・ 最近個人情報保護などのため、なかなか休業中の女性医師を見つけて連絡をとることが困難である。
- ・ 休職中の女性医師自身は、子育てを重視して意欲が低下している人が多いことなどが問題である。

### (広島県)

- ・ 講演会等への出席者数が予定したより少ないことであるが、これは広報の方法にも問題があると感じている。各病院連絡係で組織した横関係で構築した連絡会議は出席者数も多く発言も活発で、今後この関係を大切にしていこうと予定である。

### (山口県)

育児支援資源の不足

女性医師の現状把握（離職者の掘り起こし）の難しさ

### (徳島県)

- ・ 今回、県医師会の組織改変で部会から委員会に変更となる。
- ・ 部会としての自主性の存続など検討課題をかかえることになる。

### (香川県)

- ・ 香川県には以前から「女医会」があり、それは女性病院経営者（院長・理事長）の親睦と医療機関の経営を模索するような団体であって、医師会には所属せず現在も小規模ながら持続している。そのため、香川県医師会でそれとは異なる女性医師のための会を立ち上げる際に、従来の女医会との混同と参加者の意識が問題となる。

### (愛媛県)

- ・ 女性医師部会を設立したが、女性医師自身の参加意欲が今一つで、各人にいかに関心を持ってもらうか、会を盛り上げていくかが問題である。

### (福岡県)

- ・ 参加者が少ない。  
「ただでさえ、勤務と家庭の両立で忙しいのに、講演会に出る余裕はない」との意見もあり
- ・ 女性医師の所在がつかみにくい。

非常勤・パート・離職した医師は所在が不明

(佐賀県)

- ・ 医師会の各種事業、役員（委員）としての積極的な参画が望まれる。

(大分県)

- ・ 医師会員でない若い女性医師の把握ができていない。
- ・ 女性医師の勤務状況および就職希望の具体的な条件が把握できない。
- ・ 大分県としての活動を会員にどのように浸透させていくか。

(鹿児島県)

- ・ 「産休・育休制度」についてもっと認識を深めて欲しい。(現在勤務している女性医師よりもっとも多く出た意見)

(沖縄県)

- ・ 休業中や連絡のとれない女性医師の発掘方法。

#### 質問4 今後どのような取り組みが必要であるとお考えですか

##### (北海道)

- ・ 日医が企画している、育児や子育てをする女性医師が安心して働ける勤務環境の整備を大いに進める必要がある。
- ・ 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長等への講習会を開催し、病院の開設者や院長、事務長への理解と協力を得ることとしているが、さらに一步進めるために、大阪厚生年金病院のようなモデル医療機関の設置を考えている。

##### (青森県)

まず、全体的な底上げ(医師数を増やす)。特に東北では、これなくしては女性医師問題を語れない。時間がかかることだが不可欠。行政への働きかけを続ける。女性医師の問題としてのみではなく、勤務医の問題として取り組んでいくことが必要である。

ただし、今現在悩みをかかえている女性医師のための具体的な支援(育児支援、勤務環境に関するコーディネート等)の体制を早急に整える必要がある。

##### (岩手県)

育児支援事業をより内容の充実した、いかなる需要にも(ベビーシッターや家事援助等にも)応えられるものにしていく。

近隣県の女性医師会員との情報交換と交流。(東北ブロック)

##### (宮城県)

各病院長、管理者に対する啓発。

子育て中の女性勤務医師への助成、支援が(経済的な面も含めて)必要であることを行政に強く要請する。

女性医師の働きやすい職場は、男性医師にとっても働きやすい職場である。これ以上医師不足を来さないためにも、労働環境整備・改善のために、行政、市民にアピールが必要である。

##### (秋田県)

- ・ 現段階では女性医師部会を設置していないが、勤務医委員会と連動しながら(名称にとらわれるのではなく)医師全体の勤務環境の整備、底上げの一つの手段・方策として女性医師問題に取り組んでいく予定である。

##### (山形県)

- ・ 育児支援
- ・ 職場復帰システムの充実

- ・ 勤務先の理解不足解消のための説明会
- ・ 相談窓口の設置（相談マネジャーの育成）
- ・ 行政への働きかけ（予算の確保）
- ・ 意識改革のための啓蒙（男女とも）

#### （栃木県）

- ・ 質問2で回答したアンケート調査結果を待って検討する予定。

#### （群馬県）

- ・ すでに、都市医師会の役員も多数出てきているので、現状を見守りたいと思う。

#### （千葉県）

- ・ 日医の男女共同参画委員会での取り組みに沿って、病院長・開設者向けに女性医師の働く環境の整備や法律で産休・育休が取れるのに取れていないことに対してしっかり理解してもらう努力を行う。
- ・ 女性研修医・医学生に対する先輩たちからのエールを送る会を定期的に行っていききたい。

#### （東京都）

保育所、学童保育、病児保育施設の充実と利便性  
 子ども緊急一時預かりシステムの構築  
 女性医師の再教育機関の数の増加と内容の充実  
 女性医師の再教育機関として地域開業医療機関の参加  
 病院や研究機関での女性医師の責任あるポストの確保  
 学童保育施設などの休日・時間外保育施設から保護者までの責任ある送迎体制

#### （神奈川県）

- ・ 委員会としての活動も検討。

#### （新潟県）

- ・ 医師会活動に参加してもらえる女性医師の発掘を続ける。
- ・ 都道府県の境を越えた全国規模のドクターバンク（女性医師バンク、ショートサポートバンク）により、医師の偏在を少しでも解消する。そのなかで、女性医師の働く場が増えればと考える。

#### （富山県）

- ・ 質問3で回答した問題が少しでも解決できるように、行政を交えて取り組んでいきたい。

- ・ 病院長や施設長に対して勤務形態の多様化をお願いしたい。

#### （石川県）

県医師会のホームページに学生向けのサイトを設け、情報を発信する。  
大学に依頼して、女性医師検討委員会が取り組んでいる内容、またロールモデルとなる女性医師の話などを行う機会を設けてもらう。

#### （福井県）

- ・ 女性医師の仕事の特殊性は、「とにかく続ける」ことが医師としてのスキルアップの根源と考える。そのためにできる支援はどのようなものか考える必要がある。

#### （山梨県）

- ・ 女性固有の特徴である、妊娠、出産、育児および家庭生活との両立など、生活上のさまざまな問題点を支援する体制をどのように構築していくのか。また、現状においては、研修、研究、身分、処遇などにおいて、男性医師との間に不平等が存在する可能性を否定できないので、意識改革、組織改革などにどのように取り組んでいくのか、将来を見据えた行動が必要だと考える。

#### （長野県）

- ・ 長野県に設置された、女性医師ネットワーク協議会での意見などを参考に今後検討する。

#### （愛知県）

- ・ 当女医会は県医師会の分科会の一つであるとはいえ、日医男女共同参画委員会が目指している目標「キャリアの存続」に対し、後援をしている存在にすぎない。日医の今後の活動を推進協力するためには、県医師会内に男女共同参画委員会の設置が必要不可欠である。もし、近い将来その成立が実現すれば、まずは行政に頼らずに県内4大学の女性卒業者の就業状況を調べることからスタートしたいと思っている。

#### （三重県）

- ・ 一部病院では不可能でも、地域内で複数病院が協働して取り組み、行政からも一部補助があれば、広げていくことが可能と考える。
- ・ 職場ごと、専門学会ごとの具体的方策・指針を全国レベルで作成してもらいたい。

### (滋賀県)

- ・ 子育ての悩みや生き方について話したり、考えたりする情報交換の場を設ける必要がある。
- ・ 医師確保対策の一環として、女性の立場から見た勤務形態の多様化を企てる必要がある。

### (京都府)

- ・ 京都府医師会では年3回病院長会議を開催しているが、平成19年8月に開催された会議では、この件に関する意見として、「(女性研修医に産前産後休暇を取らせたくて研修を成就させた事例を紹介し)女性医師・女子医学生に支援体制があることを十分浸透させる必要がある」「女性教師の出産時の代用教員システムを参考にすればよい」「地域レベルでの実態把握ができるシステムの構築」等の意見があった。医師の絶対数が不足しているなかで、女性医師の問題への取り組みは、医師不足問題の解決を探るための必須の問題として取り組む必要がある。

### (大阪府)

- ・ 女性医師が産休・育休をとったとき、周りの医師に負担がかかってしまうため退職せざるを得ない。あるいは、大変気をつかいながら休暇を取ることになる。利用しやすい代替医師の制度の整備が望まれる。
- ・ 病院内保育所は整備されつつあるが、病児保育室の設置がぜひ必要。

### (兵庫県)

- ・ 医師会が学生、研修医等と連携して、相互の理解を深める必要がある。医師会に入会のこと、勤務医師問題の状況把握、問題点对策の検討が必要である。

### (奈良県)

女性医師への働きかけ、女子医学生への啓発推進、離職者への働きかけ  
再研修の整備  
病院管理職への働きかけ  
女性医師の生活基盤の一部が院内で対応できるよう、売店等の整備  
(大阪厚生年金病院をならって)  
勤務体制整備  
男性医師の理解

### (和歌山県)

- ・ 大学病院を含む、病院の勤務医を対象に情報を収集中である。

### (鳥取県)

- ・ 医学部卒業生の約3割が女性である現在、女性医師の労働環境等に配慮した何らかの取り組みを検討する必要がある。
- ・ 専攻する診療科として、神経内科、皮膚科、眼科などが多くなり、昨今いわれている医師の地域間格差とともに、診療科間の格差があるように思われる。出産、育児などで診療を一時中断しなければならない特性があり、地域医療確保に影響が出ないか心配である。

### (岡山県)

- ・ 今後は、岡山大学内で医局を経由するなどして、再就業、再教育システムをつくりあげていく機運が盛り上がってきている。行政等にも院内保育所などの設置を推進するよう働きかける。
- ・ 女性医師のみならず、勤務医師全体のワーク・ライフ・バランスを改善していくべく、医療費のなかにそのような予算がとれるように、医師会全体で国民的コンセンサスを得るための運動・啓発をしていくべきと思われる。

### (広島県)

- ・ 実際、働いていない人の掘り起こしや仕事を辞めていく女性医師のフォローを難しく思っていたが、質問2・3で回答した横関係の連絡網で情報収集が可能となるのではと思っている。
- ・ 結局はかなりの部分で勤務医部会と問題は同じであるから、勤務医部会と歩調を合わせていく予定である。

### (山口県)

個人の状況に応じて選択できる勤務形態の県内共通基準の策定  
育児支援  
病院長等への啓発活動  
女性医師自身の意識改革

### (徳島県)

- ・ 女性医師のモチベーション向上を図ること。  
特にこれから第一線で活躍が期待される世代への働きかけ、医師を目指す高校生および進路指導者への働きかけが重要。
- ・ 行政への働きかけ。診療報酬から保育環境の整備まで。現場の意見を送ること。

### (香川県)

- ・ 私的医療機関では、院長や理事長が決断すれば容易に女性医師の勤務環境を改善することが可能である。しかし公的病院においては、女性医師の勤務環境を



改善する必要性を認識しても、それらの勤務環境を実行するため、開設者や事務長の意識改革や条例の改定が必要とされ、容易に実行し難いのが現実である。このため、日医としてこのような開設者や事務部門への働きかけが必要である。

#### （愛媛県）

女性医師にとっては、育児による休職が一番大きな問題である。

院内保育、病児保育の充実がまず必要。

さらに小学校6年生までの学童保育が必要。現在は、低学年のみの学童保育が多いが、それではいけない。

病院長、病院開設者の理解と、さまざまな就業形態が必要。女性医師がまったく休むことのないように少しでも職場につながっていることが、将来のフルタイム就職の可能性を大きくする。

#### （高知県）

- ・ 現在検討中

#### （福岡県）

- ・ 育児・勤務継続への電話相談のようなものの設置
- ・ さまざまな問題提起の広報

#### （佐賀県）

- ・ 現在は、出産・育児により医療現場を離れると復職が難しい状況にある。今後、医師不足、偏在がさらに大きな問題として取り上げられることは明らかであり、医師確保の観点からも、出産・育児後の復職への支援体制を速やかに整備・実行する必要があると思われる。

#### （熊本県）

- ・ ただいま検討中である。

#### （大分県）

- ・ 就職していない女性医師の把握と希望調査
- ・ 復職のサポート（研修会など）
- ・ 情報交換の場を設ける（座談会、メーリングリストなど）

#### （沖縄県）

女性医師名簿作成準備（女性医師の人数等状況把握）

総会の開催

アンケート調査準備

ゆいまーるプロジェクト推進室（ドクターバンク）との連携  
産休・育休会員への会費減免措置（日医・県医・郡市医）  
産休・育休復帰後の研修システムの確立  
女性医師バンクの活用  
女性医師の勤務環境の整備（産休・育休時の救済制度）